



「ホフマンのくるみわりにんぎょう」1953年（キンダーブック1953年12月号）

生誕100年
夢と記憶の画家

も た い たけし
茂田井武の世界展

2008年12月20日(土) ▶ 2009年2月1日(日)

喜多方市美術館

〒966-0094 喜多方市宇押切2-2 tel.0241-23-0404
<http://www.city.kitakata.fukushima.jp/bijyutsukan/>

- 開館時間/10:00-18:00 (最終入館は17:30まで)
- 休館日/月曜日 12月26日(金)~1月5日(月)、ただし1月12日(月)は開館、1月13日(火)休館
- 観覧料/一般 300円(250円) 大学・高校生 200円(150円) 小・中学生 100円(80円) ※()内は20名以上の団体割引料金
- 主催/喜多方市美術館 ■共催/ちひろ美術館



童話集「月夜とめがね」から「赤いろうそくと人魚」1954年

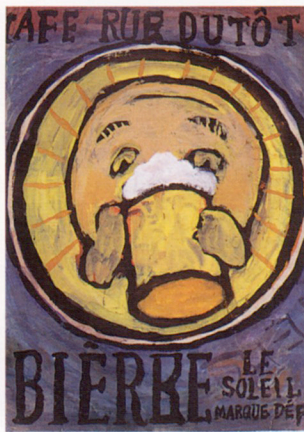
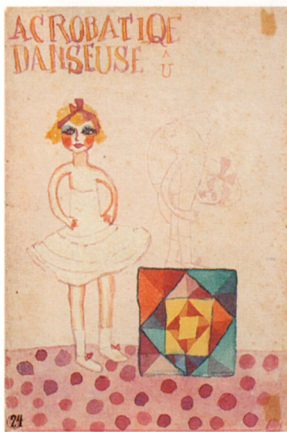
生誕100年 もたいたけし 茂田井武の世界展
夢と記憶の画家

戦中から戦後の混乱期に子どもの本の世界で活躍した茂田井武は、戦後の児童雑誌や童話に、おびただしい数の絵を描きました。そのほかにも私的な画帳なども多く描き遺しています。その彼の絵には、あたたかなユーモアと、純粹で無限の広がりを持った魂が息づいています。

生誕100年を機に開催する本展では、10代のときの自画像から、最晩年に描かれた絵本『セロひきのゴージュ』まで、茂田井の貴重な原画約80点と数々の資料を展示します。没後半世紀を超えてなお、今に生きる茂田井武の世界をご覧ください。



- 1 「竹取物語」 1936年
- 2 「かそうぎょうれつ」 1955年 (キンダーブック 1956年2月号)
- 3 「チルチルミチル青い鳥」 1946年
- 4 「アクロバット」 1932-33年頃
- 5 「ビールを飲む太陽」 1950年頃
- 6 「おめでとう」 1956年 (キンダーブック 1957年1月号)



茂田井武(もたいたけし)プロフィール

1908(明治41)年-1956(昭和31)年

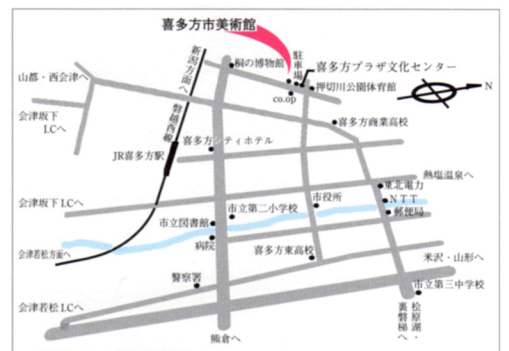
東京・日本橋の旅館に生まれる。小さいころから絵が得意で、美術学校を志すが受験に失敗、21歳の春に写生旅行と称し、シベリア鉄道でヨーロッパへ。フランスを中心に職を転々としながら絵を描いた。1933(昭和8)年に帰国後も職を転々としたが、雑誌の挿絵などを手がけるようになり、戦後の1946(昭和21)年には日本童画会に入会、絵本や絵雑誌の仕事で活躍した。1954(昭和29)年、小学館児童文化賞児童絵画賞を受賞。1956(昭和31)年に亡くなる直前まで絵本や童画などを描き続けた。

喜多市美術館ご利用案内

- ◇ 開館時間
午前10時 ~ 午後6時
(展示室への入場は閉館の30分前まで)
- ◇ 休館日
毎週月曜日
(ただし、月曜日が祝日の場合はその翌日)
2008年12月26日(金)~2009年1月5日(月)
- ◇ 観覧料

	個人	団体(一人につき)
一般	300円	250円
大・高校生	200円	150円
小・中学生	100円	80円

 ※団体は20名以上です



- ◇ 交通のご案内
 ・JR喜多市駅から 約1.5km 徒歩20分
 ・磐越自動車道会津若松ICから 約19km 車で30分
 ・磐越自動車道会津坂下ICから 約20km 車で30分
- ◇ 駐車場
喜多市プラザ文化センターの駐車場をご利用ください。